

事業報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

当記念会は、「内閣府公益認定等委員会」より平成25年3月21日公益財団法人として認定され、平成25年4月1日公益財団法人への移行登記を行った。当期は公益財団法人としての第4期となった。

平成28年度の公益目的事業については、前年までと同様、次の事業を継続して行った。

1. 川端康成文学賞の授与を目的とする事業（事業番号 公1の事業）

平成28年4月14日、川端康成ゆかりの紀尾井町福田家で川端康成文学賞第2期第17回（通算第42回）の最終選考が行われた。

川端賞候補作品の下読み・選定作業は平成27年12月12日、平成28年3月4日の2回にわたって新潮社で行われた。これを受けて、平成28年3月4日の審査委員会の第一次審査において、13編の候補作を絞り込んで、最終候補として次の作品を残した。「呼び声、もしくはサンザシ」金井美恵子、「ふるさと」いしいしんじ、「ある失踪」石原慎太郎、「三井愛子の悩み事」玄月、「襖」藤沢周、「生鮮てるてる坊主」山田詠美の6本である。この中から山田詠美氏の「生鮮てるてる坊主」（『群像』平成27年9月号掲載）が選ばれた。授賞式は平成28年6月24日に東京・虎ノ門のホテル・オークラで行われた。

なお審査委員の一人、津島佑子氏が2月18日に逝去されたので、此の年度の選考は四人の審査委員で行われることとなった。

次年度の川端康成賞第2期18回（通算43回）の下読み・選定作業は、平成28年11月9日、平成29年2月3日の2回にわたって新潮社で行われ、これを受けて平成29年3月28日に紀尾井町福田家で審査委員会第一次審査が行われた。

2. 川端康成記念館等の維持管理を目的とする事業（事業番号 公2の事業）

（1）財団の保有地は鎌倉市の自然風致地区の一部であり、除草、樹木の剪定などの作業は鎌倉の自然を守る事業の一環として行われている。かねてより庭園を公開してもらいたいという市民の要望が寄せられていたが、それに応じて鎌倉文学館の援助を得て、春秋2回庭園を公開することとした。平成28年の例では6月19日と11月12日の二日間、午前の部（10時～）、午後の部（13時半～）毎回定員30名で、鎌倉文学館で館長による川端文学小講座のあと川端庭園を見学するという事になっている。

定員を越えた場合は市内在住を優先し、抽選という形で総計120名の見学を受け入れた。

（2）記念会の保守管理業務については日々点検等を行い、補修箇所は随時補修を行った。

3. 川端康成の遺品、美術品、愛蔵品の公開並びに展示貸出を目的とする事業 （事業番号 公3の事業）

（1）本年度の展示・企画を下記のとおり実施した。

1) 東京ステーション・ギャラリーにおける展示・講演

① 「川端康成コレクション 伝統とモダニズム」を開催

開催日 平成28年4月23日—6月19日

入場者数 18,300名

監修料 100万円

② ギャラリートーク

日時 平成28年5月6日、5月20日

講師 水原園博理事

入場者数 70名

2) ひろしま美術館における展示・講演

① 「川端康成 珠玉のコレクション展」を開催

開催日 平成28年9月3日—10月16日
入場者数 18,950名
監修料 100万円

② 開催記念講演会「川端康成と広島」

開催日 平成28年9月3日
講師 川端香男里理事長
入場者数 100名

③ 開催記念講演会「川端康成の初恋、そして文学」

開催日 平成28年10月8日
講師 水原園博理事
入場者数 90名

※ひろしま美術館で川端展は28館目となる。ステーション・ギャラリーでは昭和初期、都心や浅草を中心とするチラシやビラ、またひろしま美術館では川端と戦争、平和へのかかわりについてのコーナーを設け独自色を出した。

3) 日本近代文学館における春季特別展示

「近代文学の150年—夏目漱石、芥川龍之介から戦後作家まで—
／川端康成をめぐる書簡」展

開催日 平成28年4月2日—6月11日
入場者数 2,965名
貸出展示品数 10点

4) 同館における秋季特別展示

「漱石—絵はがきの小宇宙／川端文学のヒロインたち」展

開催日 平成28年9月24日—11月26日
入場者数 3,509名
貸出展示品数 5点

(2) 資料解説事業を下記のとおり実施した。

公開展示に役立てるべく、基本的資料の解説を小林章子氏に依頼し、前年に引き続き本年も未解説の日記を中心に解説作業を行った。

(3) 新発見資料への対応

平成28年12月、鎌倉市長谷の川端邸（非公開、鉄筋二階建て昭和51年建設、川端康成記念館）から、醍醐寺の「如意輪観音像」や藤原定家の「懐紙」、隠元禅師の書「風雷舌」などの古美術品約20点、作家たちの書幅類約50点が発見された。夏目漱石、島崎藤村、徳田秋声、斎藤茂吉、親交深かった横光利一や林芙美子。芥川龍之介が室生犀星に宛てた書簡（田端文士村での会合の誘い）。平成29年1月24日13時より、駒場の日本近代文学館で共同記者発表。テレビは当日のNHKとTBSで、新聞は朝日、毎日、読売、日経他全紙が翌朝ニュースとして報じ、マスコミで大きく取り上げられた。また平成29年2月10日発売の月刊誌「中央公論3月号」は7頁の特集を組んだ。川端文学への注目、今後の川端コレクション展に大きく寄与すると思考される。

新発見資料は映像資料なども加わって広範な関心を呼んでいるので、公開展示の場を積極的に活用している。

4. その他当記念会を運営するために必要な事業

(1) 平成27年度定時評議員会

平成28年6月18日（土）15時00分～16時00分 日本近代文学館会議室において平成27年度定時評議員会を開催し、次の決議を行った。

- ① 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件
- ② 「川端康成記念会 友の会」に関する件

(2) 平成27年度定時理事会

平成28年6月18日（土）16時00分～17時00分 日本近代文学館会議室において平成27年度定時理事会を開催し、次の決議を行った。

- ① 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件
- ② 「川端康成記念会 友の会」に関する件

(3) 平成29年3月評議員会

平成29年3月23日(木) 13時00分-14時00分 日本近代文学館会議室において評議員会を開催し、次の決議を行った。

- ① 平成29年度事業計画案及び収支予算案承認の件
- ② 「川端康成記念会 友の会」に関する件
- ③ 理事、監事及び評議員の改選について
- ④ 定款一部変更の件

(4) 平成29年3月理事会

平成29年3月23日(木) 14時00分-15時00分 日本近代文学館会議室において理事会を開催し、次の決議を行った。

- ① 平成29年度事業計画案及び収支予算案承認の件
- ② 「川端康成記念会 友の会」に関する件
- ③ 理事、監事及び評議員の改選について
- ④ 定款一部変更の件

平成28年度公益財団法人川端康成記念会の事業報告は以上のとおりである。

尚、平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年6月17日
公益財団法人川端康成記念会